



東北大学

平成23年2月23日

報道機関 各位

東北大学 電気通信研究所

宮城県栗原市で実施した総務省委託事業 「栗原グリーンプロジェクト」の成果報告について

標記について、以下のとおりプロジェクト推進会議を開催し、
プロジェクトの成果についてご説明します。

- 1 日 時 平成23年2月25日（金）午後4時
- 2 場 所 東北大学電気通信研究所 2号館4階 大会議室
- 3 内 容 標記のプロジェクトについて、第3回推進会議を開催し、これまでの成果報告を行う（報道機関各位の傍聴可）。会議後に質疑を受ける。
- 4 事業期間 平成22年10月1日から平成23年3月下旬までの期間
- 5 事業目的 東北大学らが総務省平成21年度第2次補正予算のネットワーク統合制御システム標準化推進事業の委託を受け、広域分散型の地域における環境負荷低減型のまちづくりを目指した、ネットワーク統合型システム基盤の整備と、その基盤を利活用するICT技術の技術規格・仕様の標準化推進を目的として、栗原市を実証フィールドとして地域実証を行う。
(具体的なプロジェクトの内容については別紙、およびプロジェクトホームページを参照のこと)
プロジェクトホームページ：
<http://www.shiratori.riec.tohoku.ac.jp/kgproject/>

* 担当：実証研究の内容に関すること 東北大学電気通信研究所 菅沼・高橋
Tel 022-217-5081, 022-217-5455
栗原市の対応に関すること 栗原市企画部企画課 鈴木・太田
Tel 0228-22-1125

宮城県栗原市で実施中の総務省委託事業「栗原グリーンプロジェクト」について

<概要>

東北大学らのグループ（代表者：東北大学 白鳥則郎客員・名誉教授）は、総務省 平成 21 年度第 2 次補正予算「ネットワーク統合制御システム標準化推進事業」の委託を受け、宮城県栗原市において地域実証実験「栗原グリーンプロジェクト」（正式課題名：宮城県栗原市における通信プロトコル等検証のための地域実証）を行っています。

本実証実験は、生活拠点や都市機能が複合的に分散する地域（広域分散型地域コミュニティ）を対象として、地域特性に適した環境負荷低減のための ICT システムの技術規格・仕様の標準化推進、及び国内外への幅広い普及を目的として、宮城県栗原市の協力を得て実施しているものです。

<実証実験の目的>

- 生活拠点や都市機能が複合的に分散する地域（広域分散型地域コミュニティ）において、環境負荷低減を実現するための ICT システム技術について、実証実験を通じて技術規格・仕様の標準化のため検証を行う。
- 技術規格の標準化により、今後、国内外において、環境負荷低減のための ICT システムの普及を図る。

<実証実験の内容>

本プロジェクトでは、以下の技術に関する宮城県栗原市における実証実験と技術規格・仕様の標準化に向けた活動を行っています。

- ICT システム消費エネルギー監視のための IPv6-MIB（管理情報ベース）
- 建物消費エネルギー監視のためのネットワーク管理システム
- 太陽光発電システムのエネルギー監視システム
- 生活支援ネットワークシステム
- 行政アクセス支援ネットワークシステム
- スマートグリッド・ネットワークと地域ネットワークの統合制御

<参加機関リスト>

■ 実証研究担当

- 東北大学 電気通信研究所（代表者）
- 東日本電信電話 株式会社
- 株式会社 NTT ファシリティーズ
- 株式会社 日立東日本ソリューションズ
- 株式会社 三菱総合研究所

■ 実証地域・自治体

- 宮城県栗原市
- 宮城県